

# 作業効率と安全性を高めたニューモデル!



## イーグルNXリフト

### 能力・安全性がさらにアップ!

余裕の3.2ton能力でRV、小型トラックにも対応。  
安全爪、急速降下防止弁他、複数の安全装置を採用。  
ご使用中のイーグルリフトのピットを有効利用しての設置が可能。

- プレート・アーム兼用受台
- 安全装置は床上約300mmの低位置から作動
- プレート受台は1,320~2,000mmまでスライド可能
- フラットキット(アーム部のみ)で作業性・安全性向上

能力  
**3.2ton**

**EGY-32AZX**

## ラプラスリフト

### 余裕の3.5ton能力・カ持ちリフト

埋設シリンダー式リフトでは初の能力3.5ton(当社製品において)。  
プレート・アーム兼用受台とのコンビネーションにより幅広い車種に対応が可能です。  
メカニカルロック・フラットキットにより安全性、作業性が抜群のリフトです。

- オイル量が少ない高圧シリンダー採用
- プレート・アーム兼用受台
- 安全装置は床上約300mmの低位置から作動
- プレート受台は1,300~1,900mmまでスライド可能
- ケーシング構造の採用で埋設時のトラブルを防止
- フラットキットで作業性・安全性向上

能力  
**3.5ton**

**DPL-L35AZF**

# BANZAI NEWS

2013  
*Autumn*  
288

**特集**  
BANZAI NEWS

新技術対応とスタッフのチームワークで実現、  
「オ・モ・テ・ナ・シ」一番ショップへ!



BANZAI 株式会社 バンザイ

<http://www.banzai.co.jp>

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: teigy@banzai.co.jp

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-553  
TEL 048-590-3700  
E-mail: kanto\_br@banzai.co.jp

大阪支店  
大阪府市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041  
E-mail: osaka\_br@banzai.co.jp

海外販売部  
東京都港区芝2-31-16  
TEL 03-3769-6894

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山  
山形・新潟・長野・前橋・宇都宮  
水戸・埼玉・千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸・高松

●出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・長崎・大分・熊本

●販売会社 バンザイ南九州販売(株)  
バンザイ沖縄販売(株)

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171  
E-mail: sapporo\_br@banzai.co.jp

東京支店  
東京都港区芝2-31-16  
TEL 03-3769-6840  
E-mail: tokyo\_br@banzai.co.jp

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201  
E-mail: Hiroshima\_br@banzai.co.jp

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221  
E-mail: sendai\_br@banzai.co.jp

名古屋支店  
名古屋市中区大須1-29-36  
TEL 052-201-7551  
E-mail: nagoya\_br@banzai.co.jp

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261  
E-mail: fukuoka\_br@banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001  
自動車整備用機器検査用機器の設計開発販売及びサービス  
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に  
お客様とのきずなを大切に、  
お客様満足度の向上を図ってまいります。



紅葉の芦ノ湖と富士山 ―――― 神奈川県箱根町

天下の険、箱根の山を登るとそこは芦ノ湖。湖畔から富士山を望めば山頂は早くも白い雪をまとい、湖岸の山々は紅葉を散りばめて秋の装いに姿を変えています。江戸の昔には東海道の要衝として関所が設けられていた箱根町も、いまは観光の街。大勢の観光客を乗せて海賊船が棧橋に戻ってきました。

★歳時記

- 10月 14日 体育の日
- 11月 3日 文化の日
- 7日 立冬
- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日
- 12月 22日 冬至
- 23日 天皇誕生日
- 25日 クリスマス

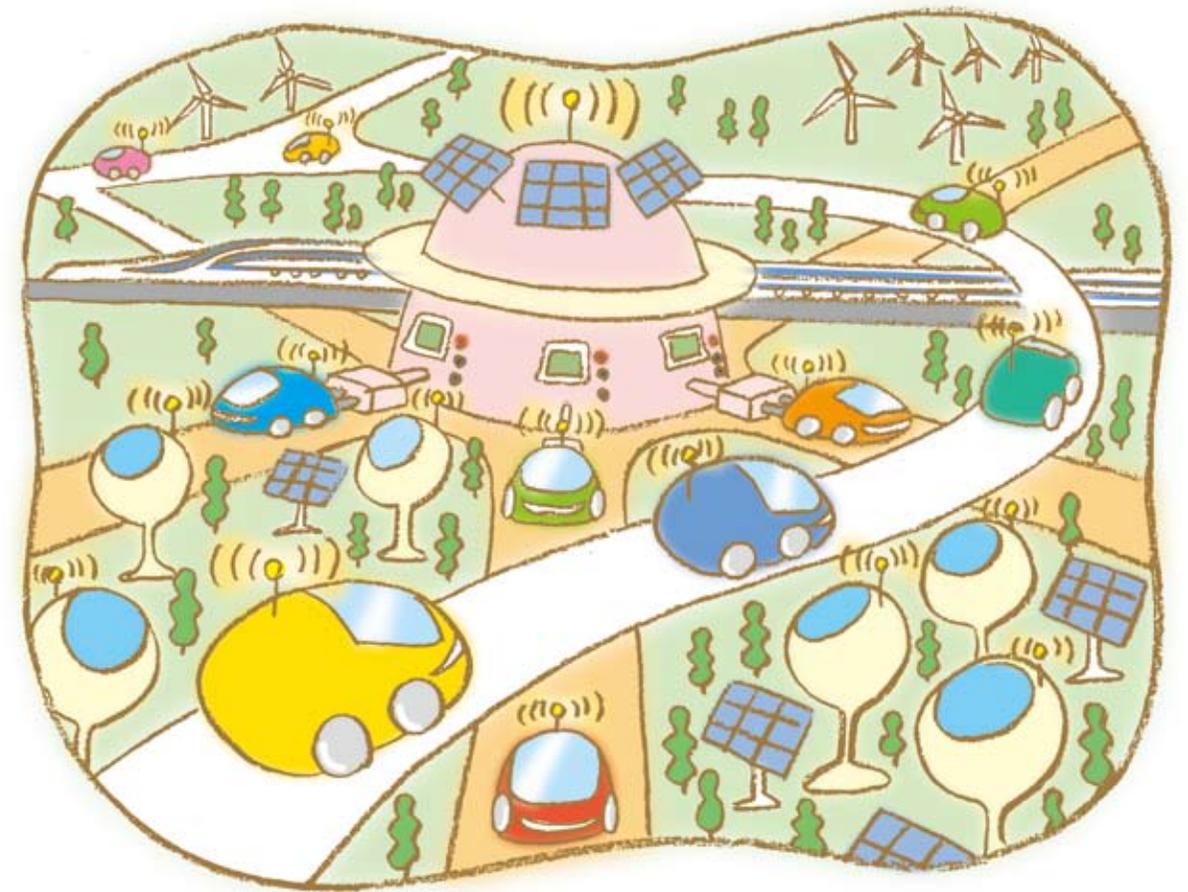


●目次

- ★特集 新技術対応とスタッフのチームワークで実現、……… ①  
「オ・モ・テ・ナ・シ」一番ショップへ!
- ★モデルショップ訪問①  
【(株)渋谷石油 ガソリンパラダイス和気】……… ⑥  
安心が基本の「60分車検」で  
お客様に最大のメリットと満足を提供、
- ★モデルショップ訪問②  
【ブジョー・シトロエン・ジャポン(株) 豊橋VPC】……… ⑧  
ブジョー、シトロエンの新車整備に  
高度な品質管理と検査体制を実現
- ★ショールーム……… ⑩
- ★ロータリー……… ⑬
- ★BANZAIガイド……… ⑰

## 特集 BANZAI NEWS

### 新技術対応とスタッフのチームワークで実現、 「オ・モ・テ・ナ・シ」一番ショップへ!



2020年の東京オリンピック招致が決まりました。前回の東京オリンピックから半世紀近くを経た現在の日本には、東日本大震災からの復興や経済問題、少子高齢化社会の到来、環境・エネルギー問題などさまざまな課題が山積していますが、チームジャパンの力で乗り切り、7年後のオリンピックを成功へと導きたいものです。

## 急速に進展するエコ、新技術の展望

21世紀も5分の1を迎えようという2020年、わが国の7年後はといったどのような社会像を実現しているのでしょうか。世界を変えつつある大きな潮流の中でも、とりわけ自動車産業において大きな課題となっているのが環境問題、資源・エネルギーの問題です。自動車とカーライフのあり方を大きく変化させつつあるエコカーの中でも、わが国においてはすでに販売台数に大きなシェアを占めているハイブリッド車(HV)もその変化の一つの表れといえるでしょう。初のHV量産車登場以来16年を経て、2012年の販売台数においては登録車の4台に1台がHVで占められるほどになっています。さらに市販車として実用化されているEV、家庭での充電が可能なPHEVも登場し、環境や省エネに関心の高いユーザーに新たな選択肢を提供しています。こうした新カテゴリーの車が市場にインパクトを与えている一方で、従来のガソリンエンジン車もダウンサイジング技術などによってエコ性能をさらに磨き、また高い走行性能と環境性能をアピールするクリーン



ディーゼルも加わって、今後自動車の販売シェアにどのような変化を与えていくか、ますます注目されるどころです。

## クルマと環境、モビリティ社会のかかわり

ところで今年11月末から開催される第43回東京モーターショーでは、主催者である一般社団法人日本自動車工業会の企画として「スマートモビリティシティ2013」の展示が行われます。これは前回の2011年からの企画コンセプト「スマートハウス+モビリティ」をさらに「くらしに、社会につながるクルマたち」をテーマに「次世代自動車とそれを取り巻く社会システム」を紹介しようという企画です。ここでいう「スマート」はご承知のとおり「スマートフォン」のスマートですね。辞書を引くと「賢い、利口な」などとなっています。スマートフォンでは多機能な携帯情報端末という意味ですが、「スマートモビリティ」ではITや各種の制御技術を利用して、暮らしに必要なエネルギーの最適な連携を実現することと、あわせてITS(高度交通システム)技術により安全快適なモビリティを実現する意味も含んでいます。

高度なナビゲーションシステムやETCシステムと連携したITSのインフラを構築することで、交通事故を減少し、渋滞のないスムーズな移動を実現するとともに、社会全体のエネルギー効率も最適にコントロールし、あわせて環境負荷も低減できる、環境と調和した社会実現のためのコンセプトといえるでしょう。つまりクルマは単独で独立した移動体ではなく、社会とリンクしたシステムの中で高度な移動性を実現するものになるということです。すでに前回のモーターショーではス

マートハウスと車のエネルギー連携という形でそのコンセプトモデルが提案されていました。2020年、社会とクルマのかかわりはといったどのような姿になっていくのか、その未来像にも大きな関心を持って見守りたいと思います。

さて、すでに車技術はまさにこうした進化の途上にあります。前回のモーターショーではコンセプトとして展示されていたPHEVと家庭電力との連携も、またITSの一環としてのASV(先進運転支援技術)もその一部は、いわゆる自動ブレーキシステム(衝突被害軽減ブレーキ)としてすでに実用化されていますし、大型トラックやバスには装備が義務化されています。また次世代エネルギーとして車への搭載も研究されている燃料電池も、家庭用のコジェネレーションシステムとして導入が進められています。いずれにしても2020年には人と車と環境が調和したスマートな社会像が実現していることを望みたいものです。

## もうスタートしていますか?新技術対応

さて現実に目を戻してみましょう。

車技術の高度化はそのままアフターサービス技術の高度化も要求します。前述のようにHV比率が急カーブを描くように上昇してくると、「うちではちょっと…」と言っているわけにはいきませんが、車の進化とともにサービス面での対応は必須です。2020年への近未来サービス対応策はすでにスタートしているのです。

次世代エネルギーや車のエレクトロニクス化への対応はもはや必須です。サービス技術の修得と診断機器、整備機器の導入など、サービス対応の確立はもちろんですが、こうした努力をお

客様に対してアピールすることも大切です。HV、EV専用サービスストールの明示、サービス研修修了証の掲示など、サービス受け入れ態勢を積極的にアピールしたいものです。これもひとつの「見える化」、情報発信のあり方ですね。

本特集シリーズでは一貫して従業員満足(ES)が顧客満足(CS)につながり、さらに企業満足を実現するという、ハッピートライアングルへの対応策を紹介しています。つまり従業員満足の向上により働く人のマインド、意欲を高めることによって「高品質サービス」を実現することが第一のステップです。そして高品質なサービスによりお客様の満足が向上すれば、お客様の定着率が高まり、お客様一人あたりの生涯利益向上が期待できるでしょう。これが第二のステップですね。そしてそれによって企業が適正な利益を上げることができれば、企業はそれによって地域社会への貢献を果たし、また社内的には前向きな設備投資や従業員教育も行え、もちろん給与・報酬もアップできます。すなわち企業満足がアップするという第三のステップが、従業員の満足度向上



という第一のステップへ、さらに高いレベルで循環していくことになります。

こうした3つの満足の循環を作るために、本特集では①「高効率化」、②「ビジュアル化」、③「節電・静音化」、④「環境」、⑤「HV・EV」の5つの対応策をご提案しています。

先に述べたように自動車技術が高度化すればするほど、サービスにも高度な技術と診断機器が必要になります。そして満足の循環をさらに高めていくためには、これらの対策をつねに見直し、前進させていくことが必要になります。

### 「環境とおサイフに優しい」点検をアピール

そろそろ中年から初老の年齢にさしかかろうというKさん、人間ドックの結果、肥満と血圧に注意という結果が出てしまいました。そして3か月ごとの健康指導を受けるということになったのだそうです。保健師さんから歩数計と日々の体重を記入するグラフを渡され「頑張ってくださいね」と激励されたKさん、「とりあえず三日坊主はクリア



したんだけどね」と苦笑いしていました。

いま日本人の死因の中でガン、心疾患、脳血管疾患の3つが全体の4分の3を占めているのだそうです。生活習慣病と呼ばれるこれらの疾患ではなにより、病気を予防することが一番大切です。高額医療費に悩んでいる健康保険組合などでは、病気になる前の指導、アドバイスに力を入れることで病気への移行を防ぎ、結果的に保険支払いを抑えようとしているのです。

これは車も同じですね。普段の点検や整備をきちんとすることで故障を防ぐことができます。故障を未然に防止できるということは、カーライフにおける環境負荷を低減できますし、ユーザーにとっては余分な出費を抑えることができるということです。つまり「環境とおサイフに優しい点検整備」なのです。もちろんサービスショップ側では定期的な点検入庫につながります。そういう常日頃からの情報発信やアピール、顧客コミュニケーションをお店の側から積極的に行っていくことも必要でしょう。

その意味で最新の診断機器を効果的に活用することは、まさにコミュニケーションのための手段ともいえるのです。とりあえず、と導入したはいいものの各種の診断機やテスターが宝の持ち腐れになっていないでしょうか。こうした診断機器を有効活用し、診断データを適切に管理し、診断レポートを活用してお客様への情報発信とコミュニケーションに活用できる「診断管理システム」の導入も検討されてはいかがでしょうか。

「チーム」で実現する顧客満足  
接客がお客様の満足度の大きな要因となる飲

食業では、お客様を「ケア」することが大切だといえます。ケアという言葉は「治療」や「メンテナンス」とはちょっと違う、「お客様に安心感を与える」ということなのだそうです。いわば身体を直すのではなく、お客様の気持ち、心を癒すことですね。料理が出るのが遅くてお待たせしているお客様に、「お待たせしています、いまお作りしています」とそのお客様の気持ちを察してタイミングよくお声掛けすることが大切なのだそうです。そのひと言でお客様は自分が忘れられていたのではないと確認することができて安心できるし、お店の誠意も伝わるといことです。自動車サービスならば「いまこういう作業をしていますから、あと何分くらいですよ」とご説明できればなお良いでしょう。

こういう対応はショップのスタッフの気配りも必要ですし、社内ルール作りも必要でしょう。高効率なサービス体制作りの一方、接客対応面でのオペレーションが重要になります。お待たせしているお客様、苦情のあるお客様、それぞれを適切にケアすることが顧客満足につながるということです。

前号でご紹介したレストランのサービスマン、「メートルドテル」もそういう接客のコントロールタワーの役割です。お客様の表情や気持ちを読み取り、フロアスタッフと厨房への指示を一手に受け持って、お客様の満足度を最大限に高めるオペレーションをしているのです。

お客様の満足度はサービスの品質によってもたらされるものですが、その「品質」は単にサービスの出来栄だけではありません。受付、受け入れ点検、診断結果の説明、整備、そしてお支

払いまで、ご来店からお帰りになるまでの間で、万一印象が悪かった、対応が不十分だった場面があれば、それがその会社への満足度の評価になるのです。メカニックの人は親切で、車もきれいにしてくれたのに、帰るときは誰も挨拶してくれなかった、などと一番悪かったところが評価のポイントになってしまいます。お客様の満足度はスタッフ全員のチームワークで作り出すものだということですね。

アベノミクス以来の円安で、いま海外からの観光客が大幅に増えているのだそうです。外国からの旅行者にとって日本の魅力のひとつは人々が「親切なこと」だといえます。もちろん日本のショップやレストランでのサービスの水準が高いということもありますが、なんといってもその基本は、日本人の親切さ、街がきれいなこと、そして何より安全だからなのだそうです。東京オリンピックのプレゼンテーションでも滝川クリステルさんがアピールしていましたね。日本人が代々受け継いできたホスピタリティーの精神、それは「オ・モ・テ・ナ・シ」、の心なのです。



# 安心が基本の「60分車検」で お客様に最大のメリットと満足を提供、

岡山県内に6カ所のガソリンスタンドを展開する(株)渋谷石油では昨年12月、和気町の「ガソリンパラダイス和気」を、車検工場を併設したセルフスタンドとしてリニューアルオープン。60分立会い車検をメインメニューとしてお客様へのトータルサービスの提供を実現しています。



国道374号に面した店舗。山陽自動車道の和気ICにも直近の立地



身近で足を運びやすいセルフスタンドがお客様との接点



給油所での声掛けとチラシで車検の入庫を促進



「安心、早い、分かりやすい」、60分車検をアピール

## 集客力を武器にトータルサービスを展開

岡山県の東部、備前市内から北部の津山市へ向かう国道374号線に面した「ガソリンパラダイス和気」は、同社として県内2拠点目となる車検サービス工場を併設したセルフ方式のガソリンスタンドです。新店舗は旧店舗の敷地を大幅に拡張して建設され、広大な給油スペースの左側にセルフ洗車場、右側にサービス工場が併設されています。ガソリンスタンドとして車検サービスを商品化することは、「収益はもちろんですが、ガソリンから車検まで、すべてのサービスをきちんと提供できることが本来の目的です」と武内嘉春工場長。お客様が日常的に足を運ばれるスタンドの集客力を武器として、同店の「VIP会員」制度により、オイル交換から車検までのサービスを、お客様の目の前で正確に、迅速に提供することがコンセプトです。



通り抜け方式の検査ライン。右側に待合コーナー

作業の様子が視える、ガラス張りの待合コーナー



工場長・マネージャー  
武内 嘉春 氏

## 短時間車検のための工夫、ノウハウが随所に

サービス工場は4ストールにZイーグルリフト2基とゲートリフトⅢ2基を設備、オイル交換から一般整備、車検整備までのサービスに対応。また検査ラインにはワークステージXとネットワークシステムを導入、短時間車検に対応した確実な車検業務を実現しています。

検査ラインに接する待合コーナーにはカウンターとパーテーションで仕切られた半個室タイプのソファが設けられ、待ち時間もゆったりと過ごせるようTV、パソコンも設置されています。

また検査ラインには青、黄、赤のマグネットで検査結果をお知らせする情報提供ボードを設備し、お客様に分かりやすい情報提供を行っています。



4ストールと検査ラインからなるサービス工場



ゲートリフトⅢとZイーグルリフトの位置をずらし、作業性のよいレイアウトに



点検・整備用に設置されたワークステージX



前後2台の入庫も可能な奥行きのあるストール。左ストールには洗車用カーテンを設備



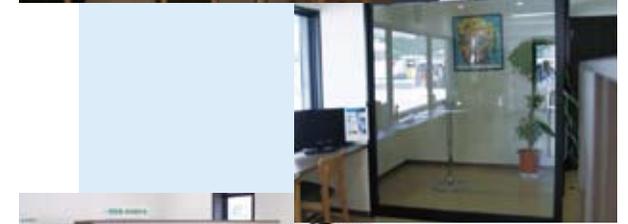
60分車検を強力にサポートするネットワークシステム



検査結果を分かりやすく伝える情報提供ボード



見えるサービスで安心感をアピール



喫煙室を完備して完全分煙を実現

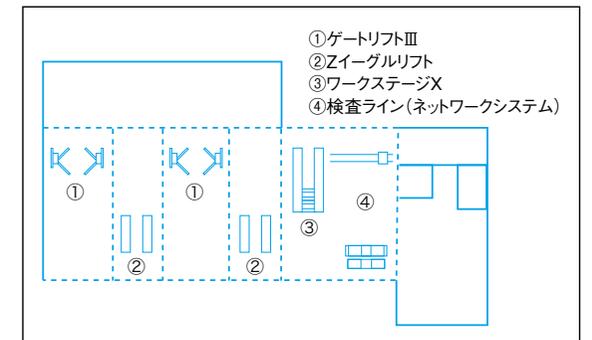


整備・車検のお客様には専用席を完備

## 「安心」のサービスを、スタッフの「人間力」で!

同店の車検は「安心!早い!分かりやすい!」がキャッチフレーズ。「あくまでも安心が第一です」と話される武内工場長。最新の設備で点検と整備を行い、それをお客様にもオープンな形で見ていただき、分かりやすい提案を行うことで安心感と高い満足度を実現することが目的です。そしてもう一つは「時間をおトクに」、スピーディにサービスすることがお客様にも、同社にとっても最大のメリットということです。

このような新しいサービスの発想は、同社の渋谷光弘社長の主導のもとに実践されているものです。同社で重視されるのはスタッフの「人間力」。一人ひとりが自ら考え、気付き、行動することがその基本です。それがお客様への「いい接客」につながり、ひいてはお客様の満足、信頼につながるということ。ガソリンスタンドもサービス工場も、すべてのスタッフが支え合い、お客様に最大の満足を提供する取り組みを推進されています。



# プジョー、シトロエンの新車整備に 高度な品質管理と検査体制を実現

プジョー・シトロエン・ジャポン(株)ではこのたびプジョー、シトロエン、両ブランドの輸入陸揚げ拠点を千葉港から愛知県豊橋市の三河港に移管し、それとともない豊橋に新たなVPC(新車整備センター)を完成、国内市場への新車供給の窓口として稼働を開始しました。



豊橋VPCの外観。三河港に隣接し、新車の陸揚げから移動も容易になった



国内でも人気の高まる2ブランド車の供給体制を確立

**高度な「品質管理」と「生産能力」の実現**へわが国の輸入車の半数近くが陸揚げされる豊橋市の三河港に、新たに完成した同社の新VPCは約38,000㎡の広大な敷地に建設され、工場建屋はおよそ7,400㎡。この中にあらゆる新車整備及び検査を行うための最新設備が導入されています。新VPCは主に国内の検査基準に則った整備、検査を行う「標準作業」のラインと、完成検査ラインのほか、アクセサリーの取り付けや補修を行うメカニカルエリア、ガラスリペア、内装・インテリアのリペア、外装のリペアを行うエリアなどからなっています。設計、レイアウトに当たっては、「ワンフロアですべての工程が見渡せること、無駄のない動線であること、安全性を考えた一方通行のレイアウトであること」の3点を基本とし、同社の品質基準による「品質管理」と、市場とディーラーのニーズに対応する高い「生産能力」を実現されています。



VPC部 センター長 兼  
VPCプロダクション グループマネージャー  
内久根 靖氏



工場の入口となる  
ドライブスルー式洗車機



床面をグレーチングとした  
拭き上げスペース



洗車を終えて  
機能検査に移動



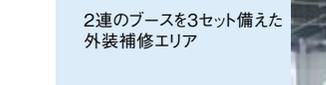
コンベアラインで流れる標準検査のエリア  
天井・サイド照明ともスーパーライトを  
使用して省エネと高照度を確保

## 独自の経験とノウハウを 集約、効率良い工場に

「品質管理においては自社の定める品質基準に則って、均一性を保つことが大切です」とセンター長の内久根靖氏。さらに均一な品質と生産性をともに満たすためには「作業の正確性」と「工程の効率性」が重要になります。新VPCのプランニングにあたっては、そのための機器選定、配置に留意されたとのこと。 「新工場にはこれまでのVPCでの経験とノウハウを集約し、たいへん効率の良い工場が実現しました」(内久根センター長)。新工場の完成に引き続き、トレーニング、工程のトライアルへとプログラムを進め、さらに現在は2017年における年間16,000台の生産体制を目指して、ソフトの部分であるオペレーションの構築を推進されています。



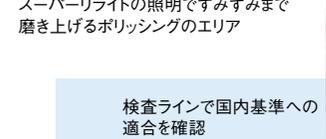
簡易ブースを備えた  
外装リペアの準備エリア



2連のブースを3セット備えた  
外装補修エリア



スーパーライトの照明ですみずみまで  
磨き上げるポリッシングのエリア



検査ラインで国内基準への  
適合を確認



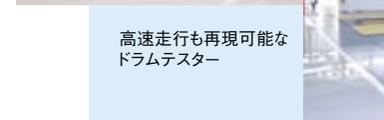
ヘッドライトテスターと車両正対装置も完備



最終品質確認を終えて完成



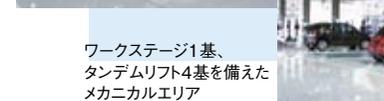
アクセサリー取り付けなどを行う  
エリア



高速走行も再現可能な  
ドラムテスター



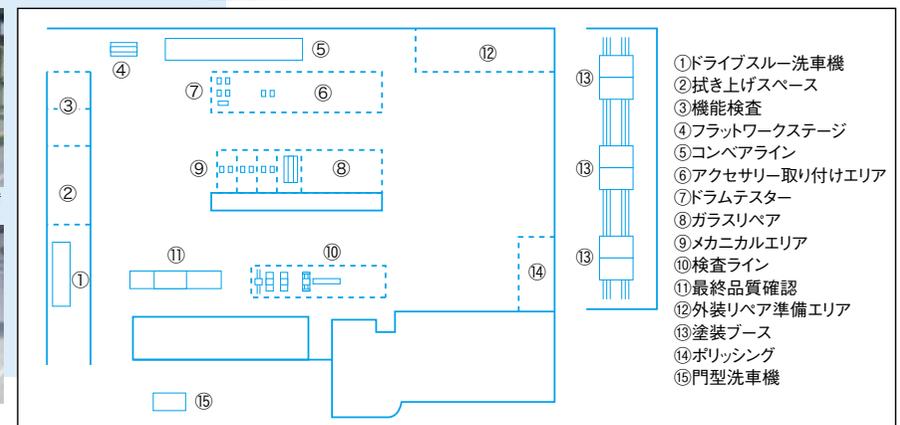
ガラスリペア、  
リプレースを行うエリア



ワークステージ1基、  
タンデムリフト4基を備えた  
メカニカルエリア

## 「オペレーションのベンチマーク創り」を目指す

「どんなに高度な設備を備え、スペシャリストを集めても、すぐにいいオペレーションができるわけではありません」(内久根センター長)。従来の千葉VPCでのオペレーションは最も高度なものと自負されていますが、この豊橋VPCにおいてはまったく新しい「オペレーションのベンチマーク」といえるものを創りたいとのこと。新VPCでは高度なスキルを持った人から、ほとんど経験のない新人までさまざまなレベルの人がいます。それを教育プログラムによりレベルアップし、さらに優れたオペレーションにより、必ずしも勘や個人の技量に頼らない、高度な生産と品質の管理が実現できるようにしたいということです。「このVPCの仕事が高く評価されることで、ここに働く人達もいい意味での誇り、満足感ももてる、そういうVPCにしたいですね」(内久根センター長)、と新VPCへの抱負を話されています。



# SHOW ROOM

## イーグルNXリフト

余裕の3.2ton能力!  
軽～RV～小型トラックまで、  
幅広いサービスを  
サポートします。



### アーム兼用

アームを使用することで対応車種が大幅にUP!



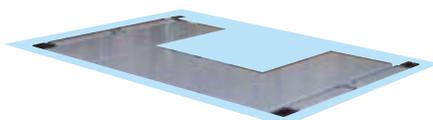
### 安全装置

床面から約300mm上昇すると  
安全爪によるロックが掛かります。  
タイヤ交換などの低い位置での  
作業時も安心です。



### スライドテーブル

Min1,320～Max2,000mm  
テーブルが引き出せます。



### 全面フラット

リフトダウン時はアーム部も受金部もフラット!  
車両の乗込みが安心!

型 式	EGY-32AZX	EGY-32BZX	EGY-32AX	EGY-32BX
油圧ユニット位置	内蔵型	別置型	内蔵型	別置型
対 象 車 種	軽自動車～普通乗用車・小型トラック (ロングボディ車は除く)		軽自動車～普通乗用車	
能 力	3,200kg			
本 体 寸 法	1,875L×2,130W×279H mm		1,875L×1,860W×279H mm	
テ ー ブ ル 寸 法	1,320～2,000L×470W mm			
揚 程	1,800mm			
電 源 ・ モ ー タ	AC200V 三相 50/60Hz 2.2kW			
使用空気圧力	0.7～1.0MPa			
アーム押し上げ装置	有り(エアシリンダ駆動)		無し	
安 全 装 置	降下止め装置、油圧安全弁、ヒューズ弁、サーマルリレー			
標 準 付 属 品	プレートリフトアタッチメント(PLA-2C)、低床式クイック受金			

# SHOW ROOM

## ラプラスリフト

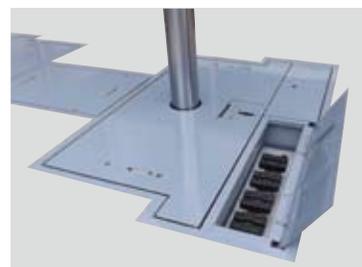
高圧シリンダー・安全メカロック採用! 余裕の3.5ton能力・力持ちリフト!

### 高圧シリンダー採用

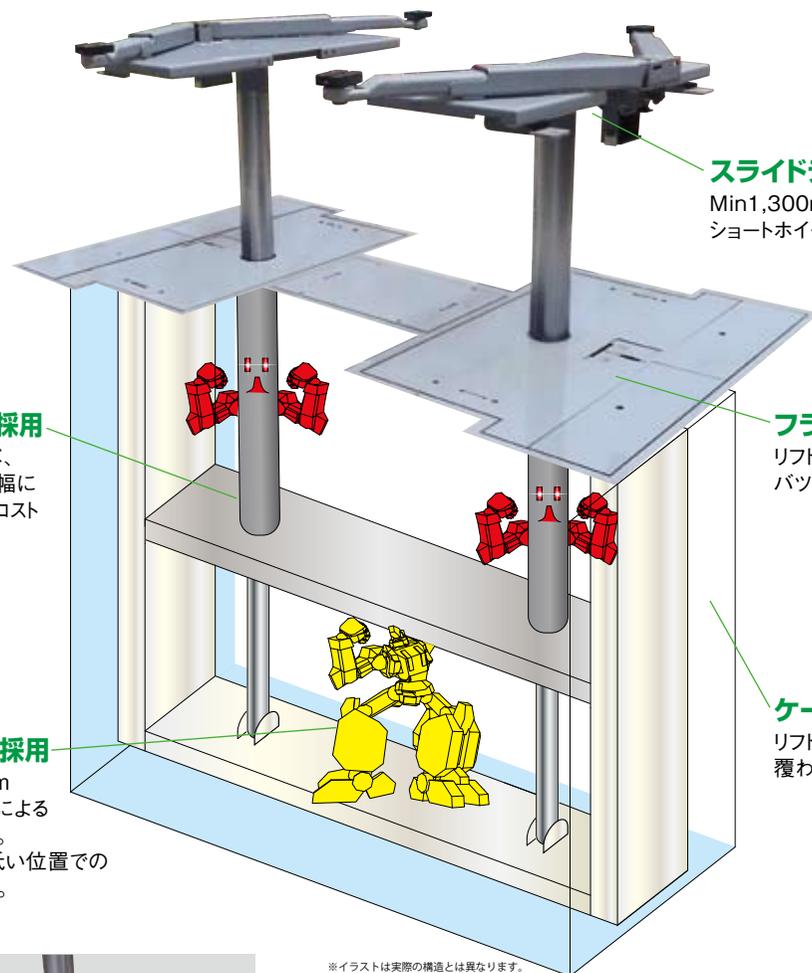
当社従来機に比べ、  
オイル使用量が大幅に  
少なく、メンテナンスコスト  
が抑えられます。

### 安全メカロック採用

床面から約300mm  
上昇すると安全爪による  
ロックが掛かります。  
タイヤ交換などの低い位置での  
作業時も安心です。



アタッチメントを床面に収納でき、  
作業効率が図れます。



### スライドテーブル

Min1,300mm～Max1,900mm、  
ショートホイールベース車も安心!

### フラットキット

リフトアップ時は床面がフラット!  
バツグンの作業性!

### ケーシング構造

リフト本体はケースで  
覆われています。

※イラストは実際の構造とは異なります。

型 式	DPL-L35AZF
能 力 / 揚 程	3,500kg / 1,800mm
電 源 / エ ア ー	AC200V 三相 2.2kW / 0.7MPa
安 全 装 置	メカニカル降下止め装置 他
標 準 付 属 品	乗用車用受ゴム プレートリフトアタッチメント(PLA-2C)

オプション:プレートアタッチメント(PLA-3, PLA-4, PLA-15, PLLA-H)  
ネジ式アタッチメント、トラック用アタッチメント、延長台アタッチメント

# SHOW ROOM

# SHOW ROOM

## エminentガンマ(γ)II (エコロジー門型洗車機)

環境にやさしい洗車機 電気・水・音をトリプルカット!



(写真は各種オプション搭載)

- 自社の仕様にカスタマイズができます。  
需要の多い機能をベースに、多彩なオプションが設定されているので、お客様の目的に合った洗車をサポートできます。
- 特殊ゴム配合のリプルブラシを新たに標準搭載。  
独特な断面形状のブラシに水をたっぷり含み、高い保水性と洗浄効果を高めます。ソフトなブラシはボディにもやさしく洗浄音も静かです。
- 操作面に液晶タッチパネルを採用。  
表示画面に従って操作するだけで、誰でも判りやすく簡単に洗車設定ができます。(オプションで操作シートを追加することもできます。)
- 緊急停止装置、新開発の垂直昇降トップブラシを標準搭載。  
安全性と効率性が向上しました。

●下部洗浄装置(オプション)は次の4タイプから選べます。



スニーカーウォッシュIII



車両定置型



車両自走型



本体搭載型

型 式	本体寸法	洗車可能寸法	レール寸法	ブラシ	ブラシ本数
RO-13G	3,600W×2,340D×2,750H mm	2,300W×5,000D×2,300H mm (ワンボックス、ミニバン、ジープは幅2,200mm)	7.8m	リプルブラシ	3本ブラシ

## ホフマン ジオライナーII (3Dホイールアライメントテスター)

ホイールに一切接触しない新型クランプ採用!  
ソフトの変更でより操作性がアップしました



クランプはタイヤに取付け。標準仕様でスチールホイール、アルミホイールに対応できます。

型 式	GL-680-2LFT	GL-680-2PL31	GL-680-2PL34	GL-680-2SP
対 象 車 種	軽四輪～普通乗用車 ※1			
適 応 タイヤ 外 径	480mm～990mm ※1			
本 体 寸 法	キャビネット 1,140W×830D×1,570H mm			
	カメラユニット	2,700W×750D×280H mm	2,700W×400D×990～1,420H mm ※2	2,700W×400D×1,100～1,610H mm ※2
電 源	AC100V 単相 50/60Hz 0.5kW			
O S	Windows7			
モ ニ タ ー	19インチカラー液晶			
プ リ ン タ ー	カラーインクジェットプリンター			
測 定 項 目	トー・キャンバー、キャスター・KPI、T.O.O.T、最大切れ角(外輪のみ)、タイヤ外径、サイドオフセット、アクスル・対角オフセット、フロント/リア・セットバック、ホイールベース・左右差、前後トレッド幅・差、スクラブ半径(キングピンオフセット)、キャスタートレール			
調 整 箇 所 表 示 機 能	サスペンション構造毎にアニメーション表示(一部表示データ無し)			

※1: 適応サイズ内でも車両の形状やその他の理由により測定できない場合があります。

※2: 吊り下げ式のため、高さ寸法はカメラユニットの移動量です。

※3: 据付け時の高さにより異なります。

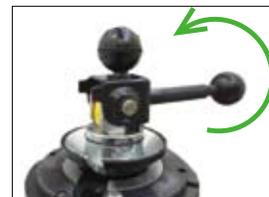
# SHOW ROOM

## レバーレスタイヤチェンジャー

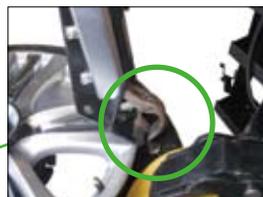
先進の技術を備えたセミレバーレスタイプ  
ランフラットタイヤ・超扁平タイヤに対応できます



標準装備のサポートアームが  
高難度タイヤ交換をサポート!



独自のロック機構で迅速  
かつ確実にホイール固定が可能!



レバーレスヘッドの  
任意位置停止が可能!



上下ビードブレイクディスク  
(プッシュイン式)で  
脱着サポート&ビードブレイク!

型 式	TCSI-1100
適用リム幅*	~16インチ
適用リム径*	12~30インチ
適用ホイール外径	最大1,200mm
モーター	0.75kW
テーブル回転速度	2段階切替式
電 源	AC200V 単相 50/60Hz
供給(使用)エア圧	0.8~1.4(0.8~1.0)MPa
本体最大寸法	1,740W×1,180D×2,200H mm
本体最小寸法	1,160W×1,110D×1,780H mm
本 体 重 量	345kg

※: 適用範囲内でも形状によっては作業できないことがあります。  
・センタードロップ式以外のリム ・トラック・バス用ホイール  
・空気入りではないタイヤ 等

### <標準付属品>

- ・プラスチックレバー ・タイヤクリーム ・ハケ
- ・マウンティングヘッドプロテクター ・リムプロテクター
- ・スチール用リムプロテクター ・アルミ用リムプロテクター
- ・コンベックスリム用プロテクター
- ・センタープレート縮小リングおよびプロテクター
- ・ドライビングピンプロテクター
- ・センタリングコーンプロテクター ・クランプアダプターセット
- ・プラスチックビードブッシングクランプ
- ・ホイールリフター ・ジェットビードシーター ・スマートロック

### <オプション>

- ・LT用センタリングコーンアダプターキット(φ120~190mm)
- ・LT用センタリングコーンアダプターキット(φ190~220mm)
- ・スチール用センタリングコーンアダプター(φ75~120mm)
- ・スチール用センタリング円錐アダプター(φ75~145mm)

# SHOW ROOM

## マーキュリーES(エアアシスト塗装システム)



(塗料は別です)



下回り塗装では、エースプレーによる塗料の噴霧が一般的ですが、「マーキュリーES」は塗料自体を高圧に加圧し、塗料を微粒化させることで効率的な塗着を実現します。塗料のコストダウンが図れるエアアシスト塗装システムです。

- 塗料材に直接ポンプで圧力をかけ、ガン先端チップから噴霧するため、塗料のムダ吹きがなくなるため、高い塗着が得られます。
- 塗料材を置く台車付で使い勝手が良く、作業の効率化が図れます。

型 式	24F-158D
最高使用塗料圧力	15:1 ポンプ10.3MPa
最高使用エア圧力	0.7MPa
サイクル容量	6cc/cyc
最大サイクル	240cyc/min
最大流量	1.5L/min
エア接続サイズ	3/8mpt
ポンプ材質	SUS製
本体サイズ(台車)	580W×400D×800H mm
本 体 重 量	約22kg

## リライトオメガ(LED照明)

1本で蛍光灯2本と同等の照度!

LEDと反射率94%の高性能反射板を一体化。

- リニューアルに最適なワイド設計で、既存器具の取り付け跡を隠すことができます。
- LEDの弱点を解決したことにより、広範囲にムラなく照らすことができ、ショールーム等に最適です。



型 式	入力電圧	入力電力	外形寸法
KZ101/20-R	100~242V	32W	1,250L×270W×50H mm

MSC経営戦略会議

第8回後継者を担う会開催

自動車整備業にとってスムーズな事業継承が大きな課題となっている中、MSC経営戦略会議の会員各社の次世代経営者たちで組織される「後継者を担う会」では、さる9月3日～4日の2日間、埼玉県熊谷市で第8回目となる研修会を開催しました。今回の研修では(株)エフアンドエムの取締役、原田博実氏による「実践的財務研修カリキュラム」のパート3として、経営に不可欠な財務諸表の見方、読み方などのほか、労務管理やマネジメントとリーダーシップのあり方など、事業継承のポイントについて、より実践に即した研修を行いました。とくに今回の研修では、2015年に引き上げが予定されている相続税対策のポイントについて詳しく解説され、企業経営の一環として早期からの対策の必要性を述べられました。

二日目はMSCの会員工場として関東、首都圏の有力3企業を訪問。各社が展開する先進的経営を見学するとともに、長年にわたり地域整備業のリーダーとして活躍される各社の経営者から経営戦略の一端に触れ、二日間の充実した研修を終えました。



各種の事例をもとに解説される講師の原田博実氏。



回を重ね、研修会活動もさらに充実。

ケンエイ車両工業(株) 埼玉県熊谷市



熊谷店の外観。定期点検の入庫アップで車検につながる大幅な入庫増を達成。



社長、原口安太郎氏より同社の戦略を紹介。



宮田式車検整備システムで車検の効率化・高品質化を実現。

(有)雲然自動車工場 埼玉県川越市



平成6年に新設された新工場「K・STAFF」。



宮田式車検整備システムは同社の主力設備として活躍。



最新機器の導入も積極的に行っている。

北多摩自動車協業組合 東京都東村山市



協業組合として常に新しい業態にチャレンジ。



現在も活躍する宮田式車検整備システム。



車検・一般整備とともに車体整備が収益の柱となっている。

BANZAI GUIDE

「MAHA」シャシーダイナモで、各種走行診断をデモンストレーション!

R&Dセンター 埼玉県北本市

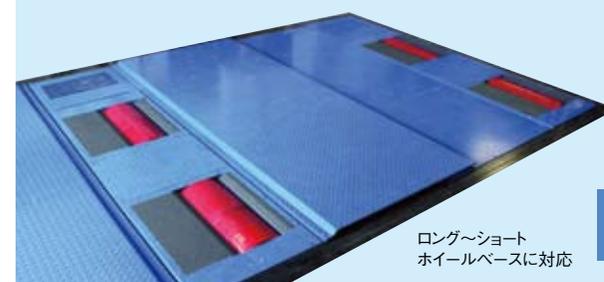
バンザイではこのたび、埼玉県北本市の「R&Dセンター」に、足回り、回生ブレーキなど、各種性能テストに最適な「MAHA」シャシーダイナモメーターを導入しました。エンジン、足回りなどの走行性能の診断、EV、HVの回生ブレーキの診断など、さらに活用範囲が広がっているシャシーダイナモメーターの導入のご検討、ならびにご見学など、皆様のご利用をお待ちしております。



MAHA シャシーダイナモメーターの特長

- 四輪同時計測・シングルローラー式
- モータリング装置により2輪駆動車も4輪の走行を再現
- 惰行運転用モーターによりEV/HVの回生性能の測定も可能
- 300km/hまでの高速シミュレーションが可能
- 高出力車の長時間連続テストにも対応

モータリング装置により4輪の走行状態を再現



ロング～ショートホイールベースに対応



シングルローラーで4輪同時計測

※ご利用、ご見学をご希望のお客様は、最寄のバンザイ各事業所へお問合せください。



おかげさまで、30周年 バンザイ南九州販売(株)

鹿児島、宮崎の2県をテリトリーとする販売会社、バンザイ南九州販売(株)は、おかげさまで本年6月に創立30周年を迎えました。この節目を契機として社員全員、一丸となってお客様へのサービス向上に努めてまいります。今後とも一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



編集後記



二十四節季でいう霜降が過ぎ、本来であれば霜が降りるほどに寒くなる時期になるはずですが、まだまだ夏日になることもあり、不安定な天候のなかにも季節は着実に秋へと向かいつつあります。そんな中、9月、10月と各地で大型台風が直撃し、多大なる被害を出して

おります。かくいう私も10月に関東を直撃した台風では、交通機関の乱れで出社に大変な思いをしました。昨今の異常気象と言われる中、寒暖による体調管理だけでなく、天災にも備える必要がありますので、皆様もどうぞお気をつけ下さい。

<南>